

## 看護学科

### 教育研究上の目的

看護学科では、看護専門職の基盤となる知識、技術、態度を身につけるとともに、産業看護職の役割を認識し、社会の変化や科学技術の発展に対応できる柔軟な思考力を備えた人材を養成します。

### ディプロマ・ポリシー

産業保健学部看護学科では、「医学及び看護学その他の医療保健技術に関する学問の教育及び研究を行い、労働環境と健康に関する分野におけるこれらの学問の振興と人材の育成に寄与する」という本学の目的及び使命を理解し、本学が規定する修業年限以上の在学のもと、看護専門職の基礎となる知識・技能・態度を修得するとともに、次に示す資質と能力を身につけ、卒業に必要な単位数を修得した者に卒業の認定を行い、学士(看護学)の学位を授与します。

1	人間性・倫理観	生命の尊厳を重んじ人々の権利を擁護できる豊かな人間性と高い倫理観ならびに深い教養と洞察力を身につけ、物事の本質を探究することができる。
2	専門的知識・技能	多様な場における人々の健康課題を捉え、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
3	看護実践力・批判的思考力・問題解決能力	社会の変化を予測して創造的に看護を実践し、看護の質を管理、改善することができる。
4	産業看護・コミュニケーション能力	人々の健康を働くこととの関連から多角的に捉え、様々な職種と協働し問題解決に向けて活動することができる。
5	国際貢献・自己啓発力	グローバルな視点から人々の健康を捉え、また主体性ある看護職者として自己啓発し続けることができる。

## カリキュラム・ポリシー

産業保健学部看護学科では、生命の尊厳に基づいた心豊かな人間教育を基盤として学際的視野に立った論理的かつ倫理的配慮に基づく看護実践力を備え、創造的な看護学の発展ならびに地域・国際社会に貢献する看護師を養成します。また、働く人々の健康の保持・増進に寄与する優秀な産業看護職を養成します。

これらの目標を達成するために、次のような教育課程を編成し、実施します。また、主体的な学習を実現するためにアクティブ・ラーニングの充実を図ります。

1	教養基礎分野	多角的視野と調和のとれた人間力を高めるための人文社会学系や国際性豊かな人材を輩出するための語学系、更に自然科学系で構成し、主に1年次に履修します。
2	看護学基礎分野	人間を身体的・精神的・社会的に捉え、看護実践力の基盤となる知識・技術・態度を修得するために、情報科学系・生活/健康支援系・病態/治療学系で構成し、1年次から3年次の前学期にわたり履修します。
3	看護学専門分野	様々な対象の健康課題に対応できる看護実践力を身につけるために基礎看護学系・臨床看護学系・在宅看護学系・公衆衛生看護学系で構成し、1年次から3年次の前学期にわたり履修します。また、これらを通して具体的な看護実践に必要な知識・技術・態度、思考力・判断力を修得します。
4	看護学統合分野	看護を統合・発展的に学習し、専門職者として研鑽し続ける素養や研究能力の基礎を修得します。初年次教育、リスクマネジメント、看護研究等を1年次から4年次にわたり発展的に学び、知識・技術・態度、思考力や表現力を統合して修得します。なお、初年次教育は入学直後に自校教育、大学での学び方、キャリアガイダンス等を通して社会人基礎力を身につける基盤を修得します。
5	保健学専門分野	保健師の実践力を修得するために保健師教育の基礎となる関連科目、更には本学の特色として労働生活の場において活躍する産業保健師の養成を目指した産業看護学関連科目で構成し、3年次から4年次の前学期にわたり履修します。
6	学修達成度の判定	上記1～5の学修成果はポートフォリオ、ルーブリック、OSCE、個別事例展開の評価ならびに学修行動調査等を用い、学生の成長に合わせ個別的・継続的に判定します。

## コンピテンシー

産業保健学部看護学科では、ディプロマ・ポリシー達成に向けて、学生が卒業までに身につけることが期待される具体的な資質や能力として以下の9つのコンピテンシーを設定しています。

1	生命の尊厳を重んじた高い倫理観と豊かな人間性	多様な価値観や生き方に対する感受性を持ち、尊厳を重んじ人の権利を擁護する能力
2	深い教養と洞察力	人文社会学・語学・自然科学にわたる幅広い知識と深い教養を基盤とし、多角的な視点から人・物・環境の本質を捉える能力
3	多様な場における健康課題を捉えるために専門的知識を適切に運用する能力	多様な場における健康課題を捉えるために専門的知識を適切に運用する能力
4	看護実践のための専門的スキルを適切に運用する能力	多様な場における看護の対象を多面的・客観的に捉え、科学的根拠に基いた個別性のある看護を実践する能力
5	看護専門職の役割を理解し、社会における看護の課題を思考し、探求する力	看護専門職の役割を理解し、批判的な思考を通して社会における看護の課題を明らかにし、探求する力
6	産業看護実践のための専門的知識を適切に運用する能力	労働と健康との関連を多角的に捉え、働く人々の健康の保持増進に向けた看護を実践する能力
7	多職種と協働するコミュニケーション能力	対象に関わる産業保健・地域保健・医療におけるチームと協働するコミュニケーション能力
8	国際的に貢献する力	国際的な視点から看護の対象を捉え、国や地域を超えて健康課題や疾病課題などに貢献する力
9	自己啓発力	自己実現を目指し、主体性ある看護職者として研鑽し続ける能力